

静岡県の学校図書館

平成 26 年 9 月発行
静岡県総合教育センター
生涯学習推進室

学校図書館に 関わる人たちの 資質向上を

学校図書館が育てる力は、児童生徒の「生きる力」の育成に資するものであり、さらには、生涯にわたる学習の基盤形成にもつながるものである。学校図書館を学校の中で機能させ、その活動の充実を図る上では、学校教育のインフラの一つである学校図書館の整備・充実を図るとともに、学校図書館の運営に当たる人員の配置やその資質能力の向上を図ることが極めて重要である。

「これからの学校図書館担当職員に求められる役割・職務及びその資質能力の向上方策等について」（平成 26 年 3 月 学校図書館担当職員の役割及びその資質の向上に関する調査研究協力者会議）より

学校図書館は、今子どもたちに求められている力を付けるために必要不可欠なものであるとされています。そして、学校図書館に携わる者の配置と資質向上について、あらためてその重要性が着目されています。特に司書教諭と両輪となって学校図書館の運営に当たる学校図書館担当職員（いわゆる学校司書）については、その配置とその研修を努力義務とするとした学校図書館法の改正案が、今年の 6 月に成立しました。

こうした動向を踏まえ、総合教育センターでは、司書教諭及びいわゆる学校司書を対象とした研修・講座を今年度も実施しました。その内容について御紹介します。

司書教諭対象

『学校図書館活用推進研修』

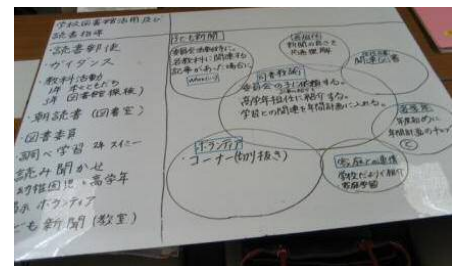
日時：平成 26 年 8 月 22 日 会場：総合教育センター

この研修は司書教諭を対象とした推薦研修です。小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の司書教諭のうち、教育委員会の推薦を受けた者が参加しました。総合教育センターでは、昨年度まで 12 学級以上の全発令司書教諭を対象とした悉皆研修を行ってきました。今年からは、その悉皆研修を受けた司書教諭が、より取組を推進していくための研修内容としました。

午前、慶應義塾大学講師の小林路子氏による講演をうかがいました。講演の中では、学校図書館の活用が教育課程の展開に大きく寄与することにより、子どもたちに求められている力を付けることができることを、事例紹介を通して学ぶことができました。また、学校図書館の活用は担当や司書教諭が周りの人たちに働き掛けて、連携を取りながら行うことで、一層効果が上がることもあらためて学びました。

午後は、校種別のグループワークを行い、学校図書館に携わる人たちにどう働きかけるかといった視点で、それぞれの学校での実践について出し合い、一つのアクションプランを作成しました。

最後に、小林路子氏と読書活動研究家の蔵元和子氏の分科会に別れて、調べ学習の演習を含めた講義をうかがいました。どちらの分科会においても、指導方法について具体的に学びました。特に、テーマ設定の段階に図書資料を活用する方法と支援の仕方を、実際にワークシートや情報カード、付箋紙等を使いながら体験的に学びました。参加者からは「今までの自分がやってきた調べ学習の指導について見直しました」「明日からの実践に早速生かします」という感想が多く聞かれました。



【学校図書館活用アクションプランを作成】

『みんなでつくろう学校図書館講座』

日時：平成26年9月18日 会場：函南町文化センター

この講座は教職員だけでなく、学校司書や学校図書館ボランティアも参加することができます。特に今回は学校司書の方が多数参加されました。また、静岡県子ども読書アドバイザーも参加し、全体で100名を超える参加をいただいた講座となりました。

始めに、東京学芸大学講師であり、全国学校図書館協議会のスーパーバイザーでもある福田孝子氏を講師としてお迎えし、「今、求められている教育と学校図書館」と題した講義をうかがいました。講義では、言語活動や探求型学習で学校図書館が果たす役割や、司書教諭、学校司書、ボランティアが連携して取り組んでいる環境整備の事例等が紹介されました。また、今回の講座では、講師が紹介する図書について、函南町文化センターに隣接する町立図書館の協力を得ました。講師の福田氏は、各教科の授業で使える図書について、1冊1冊紹介をしながら、活用方法を説明してくださいました。主体的な学び、主体的な読書につながるための本の選び方や、比べ読みをすることの重要性等、たくさんのことを学ぶことができました。

講義の後、グループで情報交換をしました。「学校司書と、どう連携するかが具体的に分かりました（教員）」「学校司書と教職員の連携した取組が充実した読書活動につながると感じました（学校司書）」等の声が聞かれました。講座を通して、参加者一人一人が本と人をつなぐ役目を担うことの意義を実感することができました。



【教科書掲載の読書案内について紹介】

電話やメール、訪問等による支援Q&A



学校図書館活用の具体例について実践事例を紹介してください。例えば、学校図書館を活用した授業の指導案等を知りたいのですが、取得する方法はありますか。



10月1日よりリニューアルする、県の生涯学習情報発信システム (<https://www.manabi.pref.shizuoka.jp>) トップページの「いきいき学校図書館」から、学校図書館活用授業の指導案や年間計画の例、さらに分類表示等もダウンロードすることができます。
新しいシステムでは、学校図書館情報がさらに検索しやすくなり、内容も充実していますので、ぜひ御覧になってください。

NEWS!

「第3回 静岡書店大賞」(SST)開催のお知らせ

静岡書店大賞とは、「読んでおもしろかった。ぜひ、多くの県民読者に薦めたい!」と願う本を選び、推薦理由とともに投票し、その結果から大賞を決定する静岡県独自のオープン文学賞です。

今年から、新刊書店員、図書館員に加え、学校図書館に携わる人も投票できるようになりました。

公式ウェブサイトは「静岡書店大賞」で検索、もしくは、<http://sstaisyou.eshizuoka.jp/>より御覧いただけます。